

令和元年

6/7金▶23日
※休館日なし

【会場】福井県立美術館

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※6月7日(金)は午前11時から

【観覧料】一般・大学生500円(団体400円)、高校生200円(団体160円)、
中・小学生100円(団体80円) ※団体は20名以上

※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額

【主催】福井県立美術館、日本経済新聞社

【共催】福井新聞社、FBC

【関連行事】

■記念講演会(申込不要・聴講無料)

6月8日(土) 午後2時から〈講堂〉

講師/黒田泰三氏(明治神宮ミュージアム開設準備室長)

■学芸員によるギャラリートーク(申込不要・要観覧券)

6月15日(土)、22日(土) 各回午後2時から〈展示室〉

現代日本画の巨匠
手塚雄二が描く
「日月四季花鳥」

「世紀の屏風絵 特別公開」



「世紀の屏風絵」 特別公開

現代日本画の巨匠 手塚雄二が描く「日月四季花鳥」

本展では現代日本画を牽引する画家・手塚雄二(1953-)が描き出した「日月四季花鳥」屏風の世界をご覧ください。日本美術において太陽と月は古くから連綿と描かれ、そこには人々の様々な想いが託されてきました。画家はこの普遍的なテーマに対して、見上げた枝葉の隙間から日月が覗く斬新かつ大胆なイメージを紡ぎ出しました。写実と装飾が融合する革新的な表現と鮮やかな色彩のグラデーションが魅力の本屏風は、「日月」という日本美術の伝統に寄り添いながらも、現代的な感性をもって描かれた新たな試みといえます。

本展は今年9月から当館で開催される「手塚雄二展 光を聴き、風を視る」に先立ち、次の100年間は人の目に触れることのないと思われる「世紀の屏風絵」を特別に公開します。会場では本画へと至る小下図なども併せて紹介することで、制作の過程を辿ることができる貴重な機会となります。また当館が所蔵する近世から近代までの屏風名品撰を併せて紹介します。

「屏風名品撰 主要展示作品」



狩野安信《竹虎図屏風》17世紀 奈良・浄福寺(福井県立美術館寄託)



菱田春草《落葉》1909~10年 福井県立美術館蔵



「手塚雄二展 光を聴き、風を視る」開催予告!

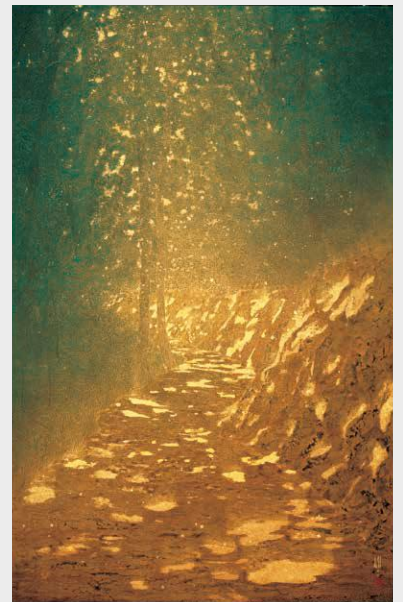
令和元年 9/6(金)~10/6(日)



手塚雄二《おぼろつくよ》2012年 個人蔵

画家の 全貌に迫る、 大回顧展!

東京藝術大学の教授であり、日本美術院の同人として活躍する手塚雄二(1953-)は、今年で院展初出品から40年の節目を迎えます。本展は画家の回顧展として過去最大の規模で開催するもので、大学の卒業制作から近年の院展出品作まで、約70点の代表作により詩情あふれる雅な手塚芸術を紹介します。さらには初公開となる画家のスケッチや下図など約80点を併せて展覧し、画業の全貌に迫ります。



手塚雄二《こもれびの坂》1996年 個人蔵

《お得な前売り券をご利用ください》 ●前売り期間:6/7(金)~9/5(木)[福井県立美術館にて販売] 一般・大学生(前売券)/1,000円(一般当日券は1,200円)



交通のご案内

- 福井鉄道・えちぜん鉄道/「田原町駅」下車徒歩約8分。
- コミュニティバスすまいる(100円)/JR福井駅西口(6番のりば)より、田原・文京方面線20分「藤島高校前(県立美術館前)」下車。
- 京福バス/JR福井駅西口より、23・25・26・27・28系統「藤島高校前」下車。
※土日・祝日は一部運休の路線あり
- 車・タクシー/JR福井駅より約8分。北陸自動車道福井北ICより約15分。

ご来場はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

福井県立美術館 〒910-0017 福井市文京3-16-1
TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459

